

新地方公会計制度に基づく 平成22年度の土浦市財務4表を公表します

現在の地方公共団体の会計制度は、その年度にどのような収入があり、それをどのように使ったかといった現金の動きが分かりやすい反面、資産(市が整備してきた施設や保有する土地など)や負債(借入金など)のストック情報、行政サービス提供のために発生したコスト情報が不足しているという弱点があり

ました。これらの弱点を補うのが、発生主義などの企業会計的な手法を取り入れた「新地方公会計制度」に基づく財務4表です。

市ホームページに、財務4表の詳細版を掲載しています。また、各地区公民館にも置いてありますのでご覧ください。

☎ 財政課(☎826-1111 内線2217)

★財務4表とはどんなもの!?

①貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は、年度末時点における市の資産と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に資産を表示し、右側に負債と純資産(資産と負債の差額)を表示しています。左右のつり合い(バランス)が取れていることから、バランスシートと呼ばれます。

②行政コスト計算書

福祉や教育などでの人的サービスや給付サービスなど、資産形成につながらない経常的な行政活動に伴うコストと、使用料・手数料などの収入を表示しています。従来

の会計では捕捉できなかった減価償却費などの非現金コストについても計上しています。

③純資産変動計算書

純資産(資産と負債の差額)が平成22年度中にどのように増減したかが分かります。総額の変動に加え、どのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています。

④資金収支計算書

現金の流れを示すものです。市の収支を性質別に区分することで、どのような活動に資金を充てているかが分かります。唯一、現金主義により作成しています。

★平成22年度の財務4表は!?

《普通会計》

①貸借対照表(バランスシート)

借方 2,060億円	貸方 2,060億円
資産合計 …… 2,060億円 市が保有している財産の内容と金額(行政サービスの提供能力を表しています)	負債合計 …… 544億円 借入金(市債)や将来の職員の退職金など、将来世代の負担で返済していく債務
流動資産 …… 63億円 資金、未収金など	流動負債 …… 54億円 非流動負債 …… 490億円
【うち資金 …… 24億円】	純資産合計 …… 1,516億円
投資等 …… 156億円 出資金、基金など	現世代がすでに負担して、支払いが済んでいる正味の資産(市の資産全体の73%を占めています)
公共資産 …… 1,841億円 道路、公園、学校など	

②行政コスト計算書

経常行政コスト …… 365億円
人にかかるコスト …… 93億円 職員給与、退職手当など
物にかかるコスト …… 105億円 施設管理委託費、光熱水費など
移転支出的なコスト …… 159億円 子ども手当等の社会保障費、補助金など
その他のコスト …… 8億円 支払利息、市税過誤納還付金など
経常収益 …… 27億円 行政サービスの利用に伴い、市民の皆さんが負担する施設利用料や手数料など
純経常行政コスト …… 338億円

③純資産変動計算書

期首純資産残高(平成21年度末) …… 1,494億円
当期変動額 …… 22億円
純経常行政コスト …… △338億円
財源調達 …… 389億円 市税、交付税、国庫補助金など
その他 …… △29億円 固定資産形成、資産評価変動額など
期末純資産残高(平成22年度末) …… 1,516億円

●今年度から、より適正な財務書類を作成するためのシステムを導入し、全ての資産(土地・建物・道路・備品など)を正確に把握するための資産の洗い出しや評価作業を行いました。

●他団体との比較、経年変化による土浦市の特徴などの結果把握に努め、内部管理にも活用していきます。



④資金収支計算書

期首資金残高(平成21年度末) …… 19億円
当期収支 …… 5億円
経常的収支 …… 69億円 人件費、税収、国庫支出金など
資本的収支 …… △63億円 固定資産形成支出、貸付金元利収入など
財務的収支 …… △1億円 地方債償還金、地方債借入金など
期末資金残高(平成22年度末) …… 24億円